

教員と職員は「一輪車」に



**東高校新体育館の建設
来月末竣工に向け順調**

金沢東高校の新体育館建設工事は二月末の竣工に向けて順調に進んでいます。新体育館は四階建てで、外觀工事はほぼ終了しました。現在はアリーナの床張り、写真、壁ボード張り、塗装など内装関係の工事が急ピッチで施されています。

新しい年を迎えて、方針を示す飛田理事長。金沢学院大学4号館講堂



飛田理事長年頭あいさつ

学校法人金沢学院大学の仕事始め式は一月五日、4号館講堂で行われ、飛田秀一理事長が教職員約二百五十人を前にした年頭あいさつの中で、今年一年の基本方針と新しい施策などについて述べました。この中で飛田理事長は「教員と職員が意識の垣根を取り払って『一輪車』になれ」と強調するとともに、学生・生徒の募集に全力を挙げるように促しました。

飛田理事長は、学校経営の根幹は学生、生徒の確保にあるという意識を改めて頭に刻みつけてほしい」と述べ、それぞれの職務における創意工夫と改善のアイデアを実現する

学生・生徒募集に全力を

ため迅速に行動するよう要請しました。また、教職員は両輪ではなく、「一輪車」になつて突

き進むよう求め、必要に応じて業務上の分担も見直し、学生生徒の募集、在学生の教育・指導にあたって

ほしい」と話しました。新しい施策として学科の見直しなど五点を挙げ、経費節減策も指示しました。

会場に並んだ金沢学院大学生のCG作品 = 金沢市豎町のティーズラボ



情報デザイン学科の 学生CG作品発表会

金沢学院大学の学生CG作品発表会展示会「CGプロジェクト」来てます学院大は一月二十日から二十

三日まで、金沢豎町の「ティーズラボ」2階で開かれ、幻想的なイメージや奇抜なテーマの作品が来場者の目を引きました。

初めてとなるこの作品展には、金沢学院大学美術文芸学部情報デザイン学科の学生有志と教員合わせて十三人が、コンピュータグラフィクス(CG)による動

画、静止画、写真など合わせて八十五点を出品しました。デジタル写真では、顔に見える建物や、友人の顔の同じ角度からのアップ、変化に富む海の表情などをテーマにした作品が並びました。動画では、第三回日本海デジタルアートコンテストで最優秀グランプリに輝いた樋渡重人君(一年)のアニメーション「スクエア・イルージョン」が大型画面で紹介されました。

ユニーク、繊細、夢幻の世界広がる

本学Aチームは46位
金沢城周回元旦健走

第六十七回石川県耐寒健走選手権が一月一日、金沢城を周回する三・五キロのコースであり、部門163チームの中で金沢学院大学Aチーム(長尾準一郎、望月輝、奥田浩、川畑松晴)は1時間1分10秒で46位、Bチーム(中村恭吾、細川亮弥、西川亨、奥井伸吾)は73位、Cチーム(福井尋一、望月弘、望月ゆかり、中村)は141位でした。雪模様で厳しく冷え込んだ元旦にもかかわらず、大

勢の教職員の皆さんが応援に駆けつけ、力走する選手に声援を送りました。



出場選手と応援の教職員の皆さん

発行・広報室